2023年11月1日　地理

テキスト前編　練習問題解答　３ページ

第１講　人口・１人当たりＧＮＩ・ＧＮＩ

［４］解説

上から５行目

誤　③がブルネイ，④がシンガポール

↓

正　③がシンガポール，④がブルネイ

［５］正解

誤　③

↓

正　④

動画　講義

第１講　人口・１人当たりＧＮＩ・ＧＮＩ

チャプター２

誤　１人あたりのGNIは人口が大きい国は高くなる

↓

正　１人あたりのGNIは人口が大きい国は低くなる

テキスト前編　練習問題解答　４ページ

第１講　人口・１人当たりＧＮＩ・ＧＮＩ

［９］解説

下から１行目

誤　割合が低い

↓

正　割合が高い

テキスト前編　確認テスト解答　81ページ

第１講　人口・１人当たりＧＮＩ・ＧＮＩ

［４］解説

誤　①；109.6（億）÷0.0039＝28193（億）

↓

正　①；109.6（億）÷0.0039＝28103（億）

テキスト前編　練習問題解答　９ページ

第２講　人口移動

［９］正解

誤　①

↓

正　②

［９］解説

10 ページ３行目を削除し，３～13 行目に以下の文を追記。

残った②と③のうちで,「政府関係職員」に該当するのはどちらだろう。政府関係職員については，各国の日本大使館で働く職員を具体的に想像してみたらいい。多くの国に大使館が置かれているので，国の数が多い地域ならば政府関係職員の数も多くなるはずだ。北ヨーロッパや西ヨーロッパに含まれる国の数は限られているのに対し，それ以外はアフリカや中南アメリカ，東ヨーロッパなど多くの国が考えられる。その他の割合が高い②を政府関係職員と判定し，これが正解。残った③が「報道関係者」である。世界約 190 か国に合計 1700 人なのだから，１か国あたりの平均は 10 人程度ということになる。規模の小さい国も多いことから，これぐらいの人数は妥当だろう。やはり経済や文化の中心である北アメリカや西ヨーロッパに滞在する報道関係者は総体的に多くなっているなど，地域間のバランスは偏っていることにも注目しておこう。

テキスト前編　練習問題解答　11 ページ

第２講　人口移動

［11］解説

上から 12 行目

誤　なお，④がシンガポール。

↓

正　なお，③がシンガポール。

テキスト前編　練習問題解答　26 ページ

第４講　天体としての地球　［２］

下から３行目

誤　７時間

↓

正　６時間

下から２行目
誤　18 時
↓
正　19 時

テキスト前編　103 ページ
第５講　大気の大循環・風系の移動
上から 13 行目
誤　南風
↓
正　北風

テキスト前編　131 ページ
第６講　季節風・東岸と西岸の気候
上から１行目
誤　その風向きは，夏季が北東風，冬季が南西風。
↓
正　その風向きは，夏季が南西風，冬季が北東風。

テキスト前編　154 ページ
第７講　海流・土壌・植生
上から２行目
誤　暖流あるいは暖流の
↓
正　暖流あるいは寒流の

テキスト前編　練習問題解答　43 ページ
第７講　海流・土壌・植生
［８］正解
誤　Ｐ：④ Ｒ：③
↓
正　Ｐ：④ Ｑ：③

テキスト前編　194 ページ

第９講　特殊な地形・海岸地形

下から 14～15 行目

誤　最初の段階が「堡礁」。（略）それが沈降し「裾礁」となる。

↓

正　最初の段階が「裾礁」。（略）それが沈降し「堡礁」となる。

テキスト前編　練習問題　203 ページ

第９講　特殊な地形・海岸地形　［７］

上から３行目

誤　河岸段丘，カルスト地形，氷河地形の

↓

正　河岸段丘，火山地形，カルスト地形，氷河地形の

テキスト前編

第 10 講　ホイットルセー農牧業区分

216 ページ

上から 13 行目

誤　10．7　ホイットルセー農業区分（３）; ヨーロッパの農業

↓

正　10．7　ホイットルセー農牧業区分（３）; ヨーロッパの農牧業

217 ページ

上から１行目

誤　10．8　ホイットルセー農業区分（４）; 新大陸の農業

↓

正　10．8　ホイットルセー農牧業区分（４）; 新大陸の農牧業

下から６行目

誤　10．9　ホイットルセー農業区分（５）; 近代に成立した農業

↓

正　10．9　ホイットルセー農牧業区分（５）; 近代に成立した農牧業

218 ページ
上から 7～13 行目
誤：
農業における重要な概念に「土地生産性」と「労働生産性」がある。
土地生産性が高い農業を集約的といい，低い農業を粗放的という。農地（耕地）1 ha 当たりの収量を考えよう。
労働生産性は，企業的な農業において高くなり，家族中心の零細経営的な農業で低くなる。農業従事者１人当たりの収量を考えよう。
一般的にみて，アジアの農業は土地生産性が高く，労働生産性が低い。一方，新大陸の農業は土地生産性が低く，労働生産性が高い。
↓
正：
農牧業における重要な概念に「土地生産性」と「労働生産性」がある。
土地生産性が高い農牧業を集約的といい，低い農牧業を粗放的という。農地（耕地）1 ha 当たりの収量を考えよう。
労働生産性は，企業的な農牧業において高くなり，家族中心の零細経営的な農牧業で低くなる。農牧業従事者１人当たりの収量を考えよう。
一般的にみて，アジアの農牧業は土地生産性が高く，労働生産性が低い。一方，新大陸の農牧業は土地生産性が低く，労働生産性が高い。

218 ページ
下から３行目
誤　各農業区分についてキーワードを
↓
正　農牧業区分についてキーワードを

219 ページ
下から３行目
誤　ヨーロッパの農業は
↓
正　ヨーロッパの農牧業は

テキスト前編　練習問題解答　76～77 ページ

第 12 講　資源エネルギー・発電

［13］正解

誤　②

↓

正　⑤

76 ページ

下から３行目

誤　Ｘがアメリカ合衆国。

↓

正　Ｙがアメリカ合衆国。

77 ページ

上から１行目

誤　残ったＹがドイツである。

↓

正　残ったＸがドイツである。

テキスト後編　６ページ

第 13 講　工業・工業製品統計

下から９行目

誤　13．２　資本集約的工業と労働集約的工業

↓

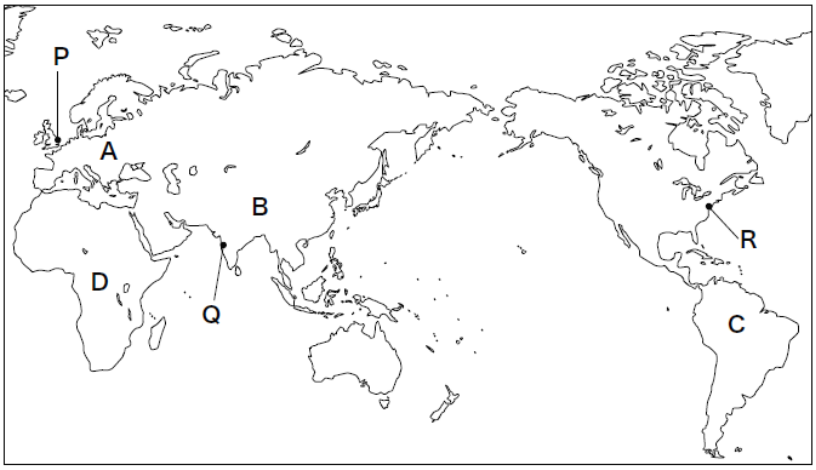
正　13．２　資本集約型工業と労働集約型工業

テキスト後編　126ページ

第18講　環境問題・災害

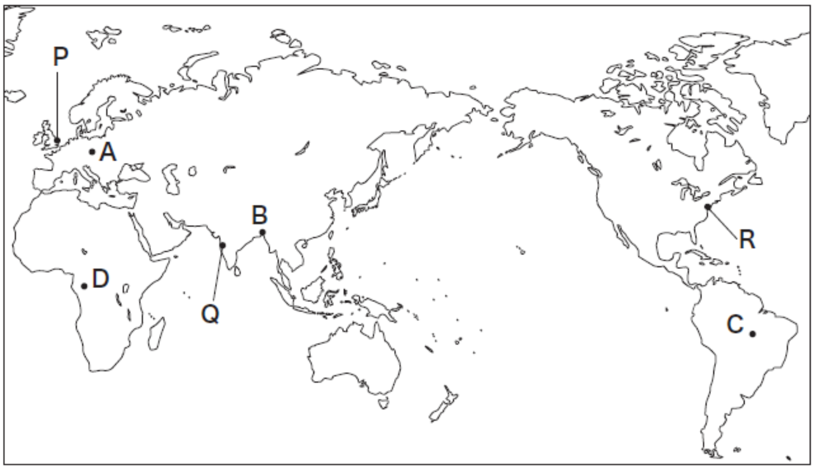
［1］　図1

誤



↓

正



テキスト後編　確認テスト解答　101ページ

第18講　環境問題・災害

［5］正解

誤　②

↓

正　①

テキスト後編　練習問題解答　40ページ

第19講　日本社会の変容・生活文化

［２］正解

誤　②

↓

正　③

テキスト後編　192ページ

第21講　統計地図

下から７行目

誤　比例する傾向があるものが①，反比例

↓

正　反比例する傾向があるものが①，比例

テキスト後編　確認テスト解答　113ページ

第22講　土地の隆起を伴う地形

［２］（２）解説

上から６行目

誤　左端

↓

正　右端

テキスト後編　練習問題解答　79ページ

第23講　沖積平野

［７］（２）解説

誤　図中の長さは8cm。地形図の縮尺は問題文にあるように，1／25000。8×25000＝200000（cm）である

↓

正　図中の長さは4cm。地形図の縮尺は問題文にあるように，1／50000。4×50000＝200000（cm）である

テキスト後編　確認テスト　272 ページ

第 24 講　尾根線・谷線・視線判定

［１］選択肢③

誤　Beni Khola は，ほぼ北東から南西へ流れている。

↓

正　Beni Khola（ベニ川）をはさんで，西側より東側の方が緩斜面である。

テキスト後編　確認テスト解答　117 ページ

第 24 講　尾根線・谷線・視線判定

下から４行目

誤　2200m

↓

正　2400m